

2016年5月15日(日)13時02分~14時18分
於 横浜ベイホテル クイーンズボールルームC

民進党ハイスクール4時限目 横浜

オープニング

こにわさん(MC・お笑い芸人、以下**こにわ**) 皆さん、よろしくお願いします。本気感じて
くださいね、きょうは。よろしくお願いします。

みんな、緊張してないか?ここ初めて来た人ってどれぐらいいますか?なんかすごいところ
に来たなって感じがしない?さっき、注意で「声を出しちゃダメ」とか言っているけれども、
例えばみんなの目の前に錦織圭が来たら絶対「キャー!」って言うでしょう?きょうは自分の
目当ての人がいて、見に来たわけでしょう。なんでそんな注意をしたんだ、いきなり最初に。
彼女たちは、自由にさせてあげます。だから呼び込んで、とにかく出てきたら「キャー!」と
か、ちゃんと応援してあげて。みんなの応援はものすごい気持ち高ぶらせるし、本気になれる
から。これで騒げないって最悪だよな、「ほりえりく」って書いているのにね、これで騒げない
って、これもうダメだからね。こっからは松岡修造ルールだからね。なので、声を出して全然
構わない。だって、きょうはこれだけのきれいな会場、僕だってウィンブルドンでしか見たこ
とないよ、こんな会場。きょうは皆さん緊張しながら来てくれたんだから、ぜひ思いっきりは
っちゃけてください。

きょうは、一応**政治のことを皆さんに知ってもらうため**。ちなみにきょう18歳の方
ていたりする?1人いた!1人だけ?すごいね。これから18歳の選挙権、今までは20歳にな
ってから選挙権を皆さんもらってたんですが、**18歳になったら選挙ができる**年齢に法律が
変わってきます。ですので、僕たちは、「なんで18歳から選挙をする必要があるか」とか、「な
んで18歳から選挙しなければいけないの?」「投票しなければいけないの?わかんないけど」
っていうところできょうは、勉強って僕はあまり言いたくないんだけど、ちょっと何か知って
帰る、「**なんだ、政治っておもしろいじゃん**」とか思っていただけたらと思うんです。

ちなみに、きょうは「民進党」って名前を書いているんです。実は民主党さんが名前を変えま
した。二つの党が一緒になって民進党という名前になったんですが、これを知っていた人って
どれぐらいいます?民進党って名前変わったよっていうのを知っていた人。

(半数ほど挙手)

じゃあ、民進党は知らないけど、錦織圭が昨日ジョコビッチに負けたの知ってる人、どれぐら
いいる?圭のほうが人気ないね、やっぱりね。意外と「民進党」のほうが知ってるね。

じゃあ、今の総理大臣知っている人は?いいよ、正直に。

(10名ほど挙手)

知らない人もいるんだね。やっぱり「政治っていうものがおもしろくない」って思っていると、「全く興味がないよ」って。それはほりえりくさんは興味があるけれども、政治はまったく興味がないよとか、今の首相、興味がないよとか、たぶんいっぱいいると思うんです。ですので、きょうはこういう会場で、ましてやいろいろな難しい話が出てくるかもしれないけれども、わかんなかったら、わかんないって顔して。そしたら僕が、「申しわけないけれど、わかんないから、それ」って言うんで。皆さんの代表、きょうは。僕も「わかんない」って言うっちゃうから。好きな人がいっぱい出てくるから、それをとにかく話を聞かずにずっと一生懸命見ているだけでいい。すごいな、すごいなって、それだけで十分です。最後に何が残ったって言ったら、自分の好きな人しか残らなかった、それでもいいと思います。僕たちは、政治というものを少しおしゃべりして、「好きな人」の中に「政治」が少し入ってきたら僕らの勝ち。それでも入ってこなかったら、今回僕らの負けだと思っているので、そういうつもりできょうはやらせていただこうと思います。

そろそろ皆さん、好きな人、準備できてる？いいですか？一人ずつ呼んでいくからね。いくよ？さあ、きょうのパネリストの皆さんを一人ずつ呼ばせていただきますので、皆さん、好きな人が出てきたら思いっきり、この会場を壊すぐらいのつもりで思いっきりいっちゃってください。

では、まずご紹介させていただくのは、ツイキャスで圧倒的な人気を誇る、「閲覧されている全ての方を笑顔に」をモットーにされているツイキャスの配信を行っている、ほりえりくさん！！！！

ほりえりくさん (21歳・モデル、以下**ほりえ**) どうもこんにちは！よろしくお願いします！

こにわ (会場の) 彼女、これだけ好きなのに、もっと騒いでいいんだよ。緊張してるの？

ほりえ たぶん、こういうところではないから。

こにわ ほりえさん、こんなところで話をしたことある？

ほりえ 話はしたことないんですけども、僕、こういうところで働いていました、もともと。普通にこういうところで、お皿3枚持って配ってました。

こにわ ホテルマンというか。

ほりえ ホテルマンで、バイトしていました。

こにわ そうなんだ。こういうところではツイキャスやったことないでしょう、さすがに。

ほりえ ツイキャスはあ、ちょっと……、今後やってみたいなとは思いますが(笑)。

こにわ いや、すばらしい。

続いていきます。女子高生人気動画アプリ・ミックスチャンネルから生まれた、動画再生回数なんと驚愕の3,500万回です、“クリオネ系女子”としてミックスチャンネルの人気の“あいによん”こと大塚愛里ちゃん！

大塚愛里さん (18歳・モデル、以下**あいによん**) よろしくお願いまーす！

こにわ どうですか、政治の話でイベントって呼ばれたことありますか？

あいによん 初めてですね！でも、政治は高校生の時に政治経済を取っていたので……ちょっとだけ(笑)。

こにわ きょうはぜひ皆さんの力をおかりしたいので、よろしくお願いします！

続いては、お姉さん mam さん、そして妹 mim さんのリアル双子ユニット、“**かわい過ぎる双子**”として注目を浴びる、最もホットな双子モデル、mim ちゃん、mam ちゃん、よろしくお祈いします！

mim さん (22 歳・モデル、以下 **mim**) mim で一す！

mam さん (22 歳・モデル、以下 **mam**) mam です！

minmam mimmam で一す！よろしくお祈いしま一す！

こにわ 二人は、双子ですけども、やっぱりテレビとか見るのも一緒だったりします？

mim 同じ部屋なんで。

こにわ 今まで分かれたこともない感じ？

mim ないです。

mam ずっと同じ部屋。

こにわ 政治の番組とか見たりします？

mam きょうは朝、NHK を見ていました。

こにわ 何かしゃべっていました？政治のこと

mam いろいろ……熊本の震災について、復興支援金だとかの話結構話されていて。気になる話でしたね。

こにわ どうですか、こういうふうに「民進党ハイスクール」という名前なんですが、政治のイベントというのはお二人で出たことはあったりします？

mam イベント自体はないんですよ。

mim この間、**えだのん**と一緒に **LINE LIVE** をやりました。

こにわ おっ、どうでした？その時の枝野さんの感じ。

mim 結構政治のことに関して見ている子からの質問が多くて。だから政治のことについていっぱい勉強できました。

こにわ じゃあもう枝野さんのことを“えだのん”と言う仲ですね(笑)。OK、わかりました。きょうはお二人よろしくお祈いします！

枝野さん後で出てきますけれども、きょうは皆さんも“えだのん”って呼んでいいですからね。これから自分でツイッターとかつぶやく時に“えだのん”って書いて大丈夫ですからね。枝野さんは、先ほど「クリオネ」っていう言葉がわからなくて、「これは何の略？」って僕らに聞いていたんですよ(笑)。「クリオネ」ってこういう動物なんですよって、僕ら楽屋でしゃべったりして、「勉強になるワー」って言っていたので。皆さんが知っていることでも、枝野さんが知らないことがいっぱいあるので、ぜひいろいろ教えてあげたらいいと思います(笑)。

では、続いてお呼びしましょう！出身地であります熊本県で、自身の無料動画ライブ配信中になんとスカウトされ、「Ranzuki」で当時最年少・**14 歳で専属モデルデビュー**です。現在ツイッターのフォロワー数は 13 万人を超えています。昨年は TBS のドラマ「天皇の料理番」に出演するなど、女優としても活動を行っている“めいめろ”こと田中芽衣ちゃん！

田中芽衣さん (16 歳・モデル、以下 **めいめろ**) めいめろです！よろしくお祈いします！

こにわ こういう政治のイベントに出たこととか呼ばれたことはありますか？

めいめろ あまりないです。

こにわ ご自身、政治の番組というか、ニュースとかよく見たりとかは。

めいめろ たまに。でも、ちょっと勉強してきました。

こにわ 枝野さんに会うのは、きょうが初めてですか？

めいめろ そうです。

こにわ きょうは“えだのん”って言って全然構いませんので、ぜひ呼んであげたらいいと思います（笑）。よろしくお願ひします！

そして最後になります。この**民進党ハイスクール無欠席**です。僕もずっと一緒にやらせていただいています。日本・フランス・モロッコのハーフモデル、“さらっち”こと紗蘭ちゃん！

紗蘭さん（18歳・モデル、以下**紗蘭**） こんにちはー！なんか変なのいる（※千葉県佐倉市で活動しているゆるキャラ「さくら丸」。先日のニコニコ超会議で民主くんを引退に追い込んだ）

こにわ いじると時間ももったいなからやめようと思って（笑）。

紗蘭 そうだね、触れるのやめとこう、とりあえず。

こにわ 紗蘭ちゃん、4回目になりましたね。

紗蘭 そうですね、自分でも、もうなんで毎回いるんだろうって感じです。

こにわ ニコニコ超会議でも出て。どうですか、4回やって。

紗蘭 4回もやると、もう親友レベルかなって。えだのんもそうだし、こにわさんもだし。

こにわ 僕なんて最初、目を見られなかったもんね。

紗蘭 そう！最初目を見てしゃべってくれなかったけど、今は熱いまなざしが逆に。

こにわ 逆に目をそらされちゃう感じね。4回やってくると、政治のこと、知らなかったけど、あ、こんな感じなのかなって、ちょっとわかるようになる？

紗蘭 だいぶ理解してきた。

こにわ きょうは18歳の選挙権についてしゃべっていくと思うんだけど、どう？**自分が今18歳で、選挙しに行きたいと思う？**

紗蘭 あ、思いますよ。

こにわ やっぱりそうなんだ。それはこれをやり始めてから？それとも――

紗蘭 やり始める前から、行きたいなって、それは軽いノリだったけど、このイベント出てからは、ちゃんと自分の意見を持ちつつ行きたいなって思ってきました。

こにわ 紗蘭ちゃんも4回出ているので、そういうちょっとわかっていろいろ皆さんに発信していくこともあるので、それもちょうと聞いていただきながら、きょうは盛り上げていただけたらと思います。よろしくお願ひします！

以上の皆さんにきょうは来ていただきました。そして、改めてご紹介させていただきます。枝野幹事長、“えだのん”です！よろしくお願ひします！

紗蘭 よっ！えだのーん！！！！

枝野幸男民進党幹事長（衆議院議員、以下**枝野**） ありがとうございます！

こにわ さて皆さん、えだのんをテレビとかで見たことがある人、どれぐらいいらっしゃるんですか？

（20人ほど挙手）

やっぱりほら、増えてまいりました。実は以前やった時、なかなかちょっと挙がっていませんでしたが。

枝野 ありがとうございます。はい、おかげさまで。

こにわ 精力的に、先ほど熊本地震の話とかもちょっと出ていましたが、そういうところでも結構メディアも使って枝野さんもいろいろ話もされていると思うんで。

枝野 現地に行ってきました。

こにわ ニコニコ超会議の時にもその話をさせていただいたりしたので、きょうは 18 歳選挙権という形で。この会場で聞いたら、(会場にいる) 彼が今 18 歳。紗蘭ちゃんも 18 歳。パネリストの皆さんは 18 歳以上の方がほぼ全員になってくるので、選挙権に対しての考え方などを皆さんにわかりやすくお伝えできればと思います。きょうはよろしくお願いします！(拍手)

パネルディスカッション

こにわ こうやってパネリストの方々、そしてえだのんにも来てもらって、ちょっと皆さんの声を聞いていきたい。今、アメリカの大統領選挙がありますが、アメリカの大統領選挙のニュースとか映像を見たことがある人はどれぐらいいらっしゃいますか？

(30 人ほど挙手)

枝野 結構いるじゃない。

こにわ すごい盛り上がりをしているなって感じませんか？なんかアメリカ人が「フォオーーー！！！」とかやったりしているなって。

紗蘭 パリピ (パーティーピープル) じゃん。

こにわ そう、本当にパリピみたいな感じ。例えば誰かが何かを言った時に、「ヒューーーー！！！」とかやっている映像が結構映ったりする。そういう映像を見たことがある？

(30 人ほど挙手)

僕ね、あれを見て思うんですよ。日本ってああいうことなかなかないけど、向こうの選挙と違って、皆さんが政治に対してすごく興味があるというのか、選挙に対して興味があるというのか、そんな感じがあるんです。枝野さんは、日本と比べてどう感じたりしますか？

枝野 実はアメリカもそんな投票率が高なくて、あれ何が違うかという、日本でも選挙の時にワーッと盛り上がりたりもするの。だけど日本では、大体そうなんだけど、政治のことでテレビに映ったりするのを嫌がるわけ。

アメリカの映像を見ると、しゃべっている候補者の後ろ側にお客さんがいたりする。そうすると絶対にテレビに映るじゃない。アメリカなんかはっきりと共和党と民主党に分かれているから、「あ、あの人は共和党なんだ」とかみんなすぐわかるわけだけれども、アメリカ人は平気なわけ。というか日本が特別かもしれない。アメリカはもう芸能人も、民主党系の芸能人と共和党系の芸能人と、結構はっきりしている。芸能の人でもその辺をはっきりさせている人が多い。

ところが日本の場合は、例えば僕のことを応援してくれている地元の支持者でも、「こっそり応援しています」と。結構そういう人が多いから、みんながガーッと映って盛り上がっている姿をテレビで映されないようにしているところはある。そこが違うんですよ。

こにわ なるほどねえ、そうなんだ。今話を聞いて、ほりえさんからいろいろ聞いていき

いけれども、どうですか、今、政治が盛り上がり欠けるんじゃないかなという言い方をしましたが、選挙も含めてそういう時期になってくると、テレビでいろいろな候補者がいろいろなことを言ったりするじゃないですか。どういう気持ちですか？やっぱり「ふーん」という感じで見ちゃいますか？

ほりえ そうですね。さっきの話を聞いていて、アメリカの大統領選の人とかは盛り上げ方がうまいのかなって思っちゃいます。

枝野 それはあるけどね。

ほりえ 政治家の人って、言い方は悪いけれどもクツソマジメみたいな感じじゃないですか。それをもうちょっとパリピみたいな感じにしてくれたら、こっちも盛り上がるのかなって。楽しいから盛り上がるわけじゃないですか。だからもうちょっと、眼鏡とか外して(笑)。

こにわ 眼鏡してると、一つ壁ができるような感じだよ。マジメなんじゃないかって。

ほりえ もっとなじみやすく。別次元の人なのかなと思っちゃうんですね、やっぱり。異世界の人みたいな感じを持ちちゃいますね。

こにわ ご挨拶に来られた方、いっぱいいたじゃないですか。やっぱりこんな(引いた感じ)になっちゃいますよね。

ほりえ なんか、「……(ポカーンとした顔)」みたいな感じにしかならない。そんな感じだったの。

枝野 やっぱりあそこの後ろの傍聴席のほう、違うもんね。

こにわ 続いて、愛里さんどうですか、政治に関しての自分のご意見。「あまり盛り上がっていないな」とか、「別に投票しに行きたくないな」とか思ったりする意見があったりします？

あいによん 居眠りしているところとか、ニュースで流れるのがネガティブなことしかないから、そんなに興味を持ってない。

こにわ 居眠り見ると「起きろよっ」と思う？

あいによん ええ。ニュースでそういうネガティブなところしか流してくれないから、こっちも「それに投票したところで」と思っちゃう。

こにわ また国会議事堂で眠らせるために投票しに行くのか……って思っちゃうもんね。

あいによん そうです。だからもっとポジティブなものを流してくれれば、もうちょっと関心がつくのかなと。

枝野 でもさ、授業中、寝ない？

あいによん 寝ます(笑)。

枝野 寝ない授業はどういう授業？

あいによん 寝ないのは、体育とかです。

枝野 寝ちゃうのは、どういうの？

あいによん 寝ちゃうのは算数……じゃない、数学(笑)。でも、それは学校で。仕事をやっているわけだから、愛里も居酒屋でバイトしている時は寝ないし。

こにわ そうですね。仕事という自覚でこの世代の子たちに言われちゃうと、えだのん、なかなかこれは響きますよね。

枝野 ものすごい正論(笑)。

こにわ 「仕事なんだから」というのをみんな言っていていいわけですよね。「寝るなよ」って言う

べきですよ。

枝野 もちろん。だけどこの話は、国会議員は一人として強気で反論できる人はいないと思う。

こにわ 「おれも寝ないようにがんばんなきゃいけないな」って思うしかないですもんね。

mim さんはどうですか、政治というものを自身が見て、日本ってちょっと盛り上がり欠けているとか。逆に、私は興味があるよって思ったりする部分があったりします？

mim 私、そんなに興味なくて、テレビとかで見ていると言合いの仕方とかがすごく子どもっぽくて、見ていると「うわー、大人なのにこんな感じなんだあ」と思って、ちょっと嫌な気持ちになって、見るのをやめたくなんです。

こにわ 枝野さん、若い世代の子たちに引かれていますよ、日本の政治。

mim 完全に引いてます。

枝野 困ったね……。昔は政治家同士が激しくやり合っているのっておもしろがられて、結構視聴率を取ってたの。「朝まで生テレビ！」って知ってる？月に1回、夜中じゅう討論しているわけ。

mim 知ってます、知ってます。

枝野 あれ、昔は5時間ぐらいやったのかな。最近、どんどん短縮されて。

こにわ そうですね、3時間とか2時間ぐらいですね。

枝野 深夜なのに結構すごい視聴率を取っていて、みんなおもしろがって見ていて、僕も学生のころとかおもしろくて見ていたの。最近おもしろくないんだよね。

mim そうですね、あまり見ない。

こにわ なんでだろうね。

枝野 なんでなんだろうね。やっぱり政治家のトーク技術が落ちている。

mim 語学力の低下というか。ボキャブラリー貧民みたいな。

こにわ 後ろの傍聴席の方たち、辞書を開いて勉強しておいてください(笑)。なるほどね、若い世代の子たちが大人に対してこれを感じているって、ちょっと危機的な状況にありませんか。

枝野 まずいよね。だから本当は激しくやり合っているところっていうのは、一番興味を持ってもらいやすいところをやっているはずなのね。みんなが意見違っているわけだから。そこが引かれちゃうようなやり方をしていたらまずいよねえ。

ただ、問題は、今は本気になってやり合っている。本気でやり合っているから、見ているほうはつまらなくなる。昔ね、僕なんか「朝まで生テレビ！」に出してもらった15年ぐらい前までは、ワーッと激しくやって、コマーシャルになった瞬間に「ごめんね、言い過ぎちゃってね」って、こういう世界だった。余裕があったんだと思う。もちろん激しく意見違ってやり合うんだけど、けど、どういうふうに攻撃したら見ている人がおもしろがって興味持ってくれるかなっていう余裕があったんだけど、最近本気になり過ぎちゃって、余裕がないんだよね、みんな。

こにわ コミュニケーション能力の低下でもあるわけですね。それって人間としての礼儀の問題にもなってくる。

枝野 そうそう。

こにわ 例えば頭をよくするようなことを議員さん同士が教えていくよりも、まず人間としてこうやっていかなければいけないんじゃない？ということ改めて原点に返って教えていく必

要もあるということですよ。

枝野 でも、テレビ局も視聴率が欲しいわけだから、視聴率の取れるトークのできる議員が増えれば、その人を使うから。そういうタレントが少なくなったんじゃないかな。

こにわ そういう意味では、えだのんなんか結構出ているじゃないですか。

枝野 最近相手を選んでいるので……。余裕がない人を相手にやると、ムキになられちゃうと、見ている人は引くよね。

mim すごいムキになっているのを見て、「そんなムキにならなくても。冷静に話せよ」って、ちょっと思います。

こにわ そういうふうになった時には、えだのんがやったみたいに、「ごめんね、さっきは」と言えるわけじゃん、そういうところで。これはおもしろい意見ですよ。

mam さんはどうですか、選挙に関してのこうとか、政治に関してのこうとか何かあったら。

mam 私、昔はすごく政治に関して興味があったんですが、最近どんどん興味がなくなってきてしまって。18歳ぐらいですかね、高校生ぐらいの時にとても興味を持っていたんですが、最近なかなか興味を持てなくなってきてしまって……。興味を持てるような発信の仕方とかコンテンツ選びとか、すごい大事だと思うんですが、そういうのも自分でチェックするのすら、だんだんおっくうになってきて。

こにわ 政治よりも自分がエネルギーを費やしたいものがたくさんあるってということだよ。そういう部分で、さっきのアメリカの話じゃないけれども、楽しいものに見えるとか、楽しい感じに見えているとか。

mam すごい興味を引かれるようなことがあればいいんですけど、最近あまり興味を引かれるものがなかなかなくて。

こにわ まさにこの「民進党」と名前が変わったというのもどうですか、ご自身は知ってはいらっしゃいますか？

mam 知ってはいましたけど、「変わったんだ、時の流れかな……」程度で知っていて(笑)。

こにわ という感じで、やはり政治とかは通り過ぎていく存在ということだよ。

枝野 名前が変わった話で、たぶん一番おもしろかったのは、原宿でのハイスクールで、「主」の字に書き足していったら「進」になったってやつ。おもしろかったよね。

こにわ やりましたよね、みんな書いていって。

枝野 民主の「主」の字に書き足していくと「進」になる。これちゃんと動画にして配信したらおもしろいのね。今ごろ気がついた。

こにわ その時はけみお君とかが来てくれて、1文字ずつちゃんと書いて。彼らは政治に参加しているっていうものを皆さんに見せたかったので、そういうふうにしたので。やはりそういうところを動画におさめておけばおもしろいじゃんという、おもしろがるようなことも大事ってことだよ。

mam 若い子は、結構、動画とか、スマホとかで手軽に見られるものが好きなので。そういうので見られるようなものをどんどん増やしていかないと、若い子は興味を持たないのかなと思っていますね。

こにわ 民進党も含めて、政党の皆さんはツイッターをやったりする。例えば自民党だったら自民党の中の人とか、民主党だったら「民主くん」というゆるキャラがいたんですが、その方々がツイッターとかやっていて。政党のツイッターを見たことある人って、どのぐらいいますか。

(挙手なし)

ほら、こういう現状ですもんね。だたやればいいっていうものじゃないんだよね。

mam そうですね、広め方も大事ですよ。だからきょうみたいにこうやって若い子を集めてやるのも、すごいいいと思います。

こにわ そうすると、「mam ちゃんが見たことあるんなら、私もちょっと見てみよう」って思ったりするっていうことだもんね。

mam します、します。自分の興味のある人が、例えば政治について結構語っていたりしたら気になりますよね。

枝野 政党のツイッターは、どっちにしろだめなんですよ、見てくれないんです。

こにわ はっきり言っちゃった (笑)。みんな、だめなんだって。

枝野 かといっとうかつなことを書くと、「まじめにやれ」という感じでしょう。

こにわ クレーマーがいるからね。

枝野 「民主くん」は、政党じゃないから。

こにわ ゆるキャラだから。

枝野 「民主くん」はそこそこおもしろかった。私も見ていた。

こにわ そこそこ (笑)。芽衣ちゃんはどうですか、政治。

めいめろ 普通にテレビとかで見ていて、けんかしていたり、そういうマイナスな部分がたくさん報道されたりとか、不倫とかそういうのもあるので、そういう人たちがばかりなら投票しても同じなのかなって思っちゃいます。

こにわ 政治家の不倫とタレントの不倫って、一緒の目線で見ちゃう？政治家もタレントと同じような感じに見えちゃうというか。

めいめろ 一緒と言われれば一緒かもしれないんですけど、でも芸能人は芸能人で、政治家さんたちは「国のお人」みたいな感じなので、またそれは違うのかなと思っちゃう部分はあります。

こにわ 彼女たちとか彼らは、ちゃんと若い世代でも国会議員の方をちゃんと国の政治を担う、国を変えていく人っていう見方をしているのに、メディアの報道の仕方がああいう報道の仕方だと、芸能人と同じような目線で報道をしている気も僕はするんです。不倫の時だけは大きく騒ぐとか。

枝野 まあ、選挙に落ちたら芸能人になろうと完全に狙っている国会議員とかもいますからね。だけど、これは両方あって、大昔、僕らが生まれる前のころは、国会議員はほとんどが男性で、その国会議員さんは要するに不倫相手がたくさんいるのがむしろステータスみたいな時代があったわけ。

こにわ 国会議員の中でも、そういうので「あの人はすごいな」という見方をしていた。

枝野 そういう時代が50年ぐらい前まであったのが、今はそういうことが発覚すると「ちょっとおかしいんじゃない!？」と言われるようになったのは、当事者としては大変だけど、いいことなんじゃないのかなあ

こにわ ちゃんと、悪いことはだめですよって言う、報道の仕方としては合っていると。

枝野 そうそう。

こにわ そこができれば、今度は違うところも同じような形で大きく取り上げていけたら、こ

うやって皆さん知らない方々も普通にテレビをパッと見た時に、「あ、今、政治のことやってる。へえ、そうなんだ」という見方ができるということですよね。これは日本の政治とメディアの関わり方の次の段階を考えていかなければいけないと。

枝野 逆に昔は、いいところだけ伝わってきたのかもしれないけれども、一種豪快だった。いいかげんで豪快なイメージの政治家が何人もいた。普通の人には不倫とかなんとかはネガティブかもしれないけど、そういう豪快な人だから、「何が悪いんだ」みたいな感じになる。逆に親しみも逆方向であったりしたのかもしれない。

今は、そういうことをやったら許されないんだって、実はほとんどの国会議員が思っているわけ。ヤバイ、「週刊文春」につかまったら大変なことになると。そういうことをしてはいけないんだっていう抑制が働いている分だけ、ちょっと小粒になって豪快さがなくなってしまうからつまらないという、ちょっと裏表があるかもしれない。

こにわ おもしろい裏表ですね、時代の流れとともに。

紗羅ちゃんは4回やってきて、改めて、政治って自分の中でどんなもんって思ったりする？

紗蘭 やっぱ硬いじゃないですか、政治って。でもさっきも言っていたように、アメリカがウェーイ！ってなっているんなら、日本ももうちょっと盛り上げたほうが若い子もそれにノッていけるんじゃないかって思って。前、私が枝野さんと**プリクラを撮った**やつをツイッターに載けた時に、すごいいろいろな議員さんからリップが来たんですよ、ホントに。それが「これは大丈夫なのか……」とか、最終的には高須クリニックの高須さんまで来て、拡散も普通のレベルじゃないぐらい拡散されちゃって。逆にあれも一つの盛り上げ方だったんじゃないかなって、いい意味で私はとらえていて。だから、そういうのをもっとやっていったほうが楽しいんじゃないかなとも思うんですよ。

枝野 うちの業界の反応は、「枝野、やり過ぎ」だった。

紗蘭 でも、そのぐらいのほうが、「枝野さんって、政治家さんだけこういうこともするんだ」って、**若い子的には興味を持つ**と思うんです。私だって実際、最初、めっちゃこう（引き）だったけど、今じゃこう（前のめり）だし（笑）。

こにわ “えだのん”って言うぐらいだからね。

紗蘭 そう。盛り上げ方がまだ低いんじゃないかなって思いますね。

こにわ そういうことをした時に、まさに“枝野さん”から“えだのん”っていう言い方に変わるように、人間の中身が知れるじゃない。「あ、なんだ、えだのんじゃん」みたいな。

紗蘭 えだのんじゃん！！！！みたいな（笑）。

こにわ 人間の中身の部分でも、やっぱりこういう人だからこそ、えだのんを応援していきたいって、ならない？

紗蘭 なりますね。こうやって何回も一緒にお仕事させてもらって、会えば会うほど知っていくし、フフフ。たぶん枝野さんも私のこと好きでいてくれると思うから（笑）。

こにわ これは両思いだね。

枝野 大人をからかうものじゃありません（笑）。

紗蘭 でもやっぱ会えば会うほど、すごいいい人っていうのがわかるし、お互いいいコミュニケーションもとれるかなって思うんで。だから、やっぱりこういうのも一つ大事だなって思ってます。

枝野 実は、普通の政治家は、例えば衆議院議員だと選挙で10万人ぐらいから名前を書いてもらうわけですよ。その中には地元でよく会っている人、応援してくれている人が100人や200人はいるわけです。その人たちに会えば会うほど「この人、応援しよう」となってくれないと、全部で10万票は集まらないから。ちゃんと会って話をしてもらったら「おもしろい人じゃない？」とか「いい人じゃないの」と思ってもらえる人じゃないと、実は選挙には勝ち続けられないはずなんだけど、だけど、直接会える人は限られているから、テレビを通じてとかニュースを通じてだと「なんか変なオッサンたち」みたいな感じになっちゃうと思うんだよね。逆の意味で、私、変なオッサンですけどね（笑）。

紗蘭 でも、こういうイベントをするから若い子の支持とかも取れていくし、チョーいいと思いますよ。

こにわ 純粋に今、枝野さんを初めて見たり、今まで見たことある人でも、「え？政治家さん、こんなにしゃべったりしてくれるんだ」と思ったりした人は、どのぐらいいる？

（数人が挙手）

紗蘭 政治家さんが、うちらと一緒にいるんだよって、感じで。この絵づらは何だよって。

こにわ この並びはすごいよね、考えられる？これ。でも紗蘭ちゃん、そういうことだよね。

紗蘭 もっとプリクラ撮りたいなって思う。

こにわ 国会議事堂の中にプリクラつくればいいじゃない。

紗蘭 そう、フレーム付きのとか。

こにわ みんながそこまでは来られて、通り過ぎる政治家の方とかと「すみません。一緒にプリクラ撮ってもらっていいですか」。

紗蘭 盛り上がる！

枝野 それはいいかもしれないですね。

紗蘭 ほら、こうやってノッてくれるから最高だし、ホントに。

枝野 今度、党のイベントか何かでやろうか、それ。考えよう。

こにわ さて、全員に話を聞いて、若い世代の政治に対する意見とか、改めてどう思いましたか。

枝野 予想していましたけどね、やっぱり厳しいよね。だって、つまんないもん。僕は政治家をやりながら、例えば政治番組を日曜日の午前中とかにやっているじゃないですか。最近、ますますつまんないから、見ないもんね。それからニュースもネットで見られるから、必要なことは全部そっちで取れちゃうから、ニュース番組を見なくても政治のニュースなんてチャンネル変えちゃうものね。もともと関心のない人にとってはもっとそうなので、どうしたら取っつきやすくなるかって、本当はみんな考えなければいけないのね。

こにわ やっぱりメディアは切っても切れないものですから、ぜひ活用していったほうがいいと思いますけどね。

こにわ では、ここからは、フリップがありますので、フリップを使って皆さんに質問していきたいと思います。

まず皆さんに質問なんですが、実は日本の選挙の投票率が約 50%しかないというデータがあるんですね。若い世代が選挙に参加することがすごい大事なことなんですが、20代の方はそのうち 40%っていない。この現状を、若い皆さん、影響力のあるパネリストの皆さんにちょっと考えてもらおうかなと思うところで、この質問をさせていただきます。この投票率を上げるために「私だったら投票したらこういうことをしてあげる」とか、逆に「演説の時にこういうことをしてみる」とか、そういう何かアイデアがあったら、何個でも書いていただけたらと思います。

紗蘭 自分が政治家だったらってことですか？

こにわ でもいいし、自分が投票する側で「こんなだったらいいな」という願望でもいいし。実際に、枝野さんは投票される側ですよ。投票する側とされる側で、目線が変わりましたか？

枝野 そうね、どうしたら投票してもらえるかって考えなければいけないわけだから。

こにわ まず投票する時って、自分はどんなふうに考えていました？

枝野 僕の場合はもともと政治に関心を持っていたからね。だけどおもしろがってはみましたよね、いろいろとね。

こにわ おもしろがれる人はいいけど、じゃあおもしろがれない方のためにはということ、今度投票される側だと、そういう人が増えてくる。やっぱり工夫されたこととか、気をつけていることとか、ご自身でやっていることは。

枝野 僕は逆に“いかにも”ということをやらないほうがいいと思っている。候補者がタスキをかけるでしょう、自分の名前を。あれを僕、最近ではタスキをかけるんだけど、最初の2回か3回の選挙、使わなかったの。「なんか変だな。変な人だよな、タスキかけている人って」と思って、やらなかった。それから選挙になるとビラをまいているスタッフの人とかみんなおそろいのジャンパーを着てやるじゃないですか。あれも「やり過ぎると変だな」とか思って、あまりやり過ぎちゃまずいかなとか。いかにも選挙！というのは引くんじゃないかなと、結構意識してやりましたね。

こにわ さて、いっぱい書いてくれている人もいますね。書けましたら、皆さんの意見を。じゃあほりえさんから。

ほりえ 「教科書やフリーペーパーなどに政治のわかりやすい4コママンガとか載せてほしい！」

そういうものを載せてもらったら、政治のこと自体がわかりやすいと思うんですよ。SNSとか何でもいいんですけど、みんな、政治が何なのかすらわからないことが多いと思うんですよ。どういう経緯で民進党に変わったのかとか、そういうのとかを簡単に4コママンガとかをやってくれたらわかりやすいかなとは思いますがね。

こにわ 例えばツイキャスで民進党的ことをちょっとしゃべってほしいと言われた時に、何にもわからないからしゃべりようがないもんね。

ほりえ そうですね。だから簡単にまとめてくれている何かがあればいいかなとは思いますがね。

こにわ なるほど。次、愛里さん、ちょっと見せていただいてよろしいですか。

あいによん 「ネット テレビのdボタン #ハッシュタグ ツイートに絵文字」

テレビのdボタンでやれば見やすいし。あと、民進党とかツイッターをやっているって言っ

ていたじゃないですか。熊本地震があった時に、リツイートが回ってきて見たことあるんですけど、すっごいきれいな日本語で「。」しかついていない(笑)。もう真っ黒だから、そういうツイートに絵文字とか足しただけで、みんなが見てくれるようになるんじゃないかなって。だからホントに、愛里も堅苦しいとしか思っていないから、そういう印象を変えることで若い世代の子も興味を持つようになるんじゃないかなって、ツイートの絵文字。

こにわ 堅苦しい言葉というか、まさにさっき言っていた“政治家っぽい”ことをやっちゃうってというのは、ちょっと問題なのかも。

枝野 特に政党がやるとだめなの。政治家個人では、僕らの仲間だとツイッターでたくさんフォロワーがいるのは蓮舫さんだけでも、蓮舫さんのツイッターは確かにそんな難しいことは書いていない。だから結構たくさんの方が読んでくれているらしい。

こにわ その数にも反映されるんですね。

枝野 そうそう。だから、もっとみんなでわかりやすく。絵文字を使うのは私も、ねえ……(笑)。

こにわ プリクラは撮るけれども、絵文字は？

枝野 自分で考えなければいけないからね。

紗蘭 えだのんがハートとか使っていたら、わりとかわいいよね。

こにわ この皆さんがリツイートなんかされたら、もう誰も反抗できないから。このリツイート数といったらハンパじゃないんだから。

枝野 私は、絵文字を書けないかわりに、どこでラーメン食った、うまかったとかいうのをフェイスブックに上げている。きょうもせっかく横浜に出てきたので、家系ラーメンを食べてきました。これが一番反応が多いのじゃないかってぐらい。

こにわ そういうことを考えながら枝野さんもやっているよ。

mim さん、ちょっとお願いできますか。

mim 「ネット投票で簡単に！」「若い人達の意見を取り入れた案を出す！」

もうあるかもしれないんですけど、ネット投票とかで簡単に投票できるようにするのと、若い人たちの意見を取り入れた法案とかを出して、興味を持ってもらう。

こにわ まず「ネット投票」という言葉を知っている人は？

(数人が挙手)

mim あ、少ない。

こにわ やり方を知っている人は、じゃあ、いないはずだ。

枝野 だって、やっていないんですもん。ネット投票はまだできていないから。

こにわ そうかあ。何かそれっぽいような言葉がちょっと出てきていますが。

枝野 ネット投票をできるようにしたいなと結構思っている人は多いんだけど、問題は本人確認をどうするかだよ。なりすまし投票を止めるのに。

mam マイナンバー。

枝野 そう、マイナンバーが普及すればそれかなあ、というのはあるんだけど。でも、他人のマイナンバー、知っちゃうからね。今やっているの矛盾していて。「他の人に知られないようにしてください」と言いながら、仕事をしている人は職場に報告しなければいけないでしょう。だから他の人は知っているわけで、だから実は本人確認にならないよねって。

こにわ なるほど、個人情報だけが漏れていっているような。

枝野 そう。どうしようかなと。

紗蘭 でも最近、ツイッターでアンケート機能が付いたんですよ。4個ぐらい（選択）できるようになって、ポンと押したらそれに投票できる。そういう感じで簡単に投票できたら。

枝野 そうしたらみんな投票してくれるだろうなとは思うけど。

紗蘭 それこそ本人確認があれだけど。

枝野 そう、本人確認の一点。

mim 一人一票ということにすれば。

紗蘭 ツイッターのあれは、一人一回しか押せないから。

こにわ アカウントがあるからだよな。

枝野 でも選挙になるとみんな必死だから、一人で幾つものアカウントを取って。

一同 あー……。

枝野 今は家に送られてきた投票券を持って投票所に行くでしょう。あの投票券、買ってかき集めて、やる人がいるんだから。残念ながら、ごく一部。違法だけどね。そこまでやってという人は少ないけど、でもツイッターでアカウントを幾つも取るぐらいのことは、全然チェック利かないよね。これが悩みなんです。

こにわ アメリカと違ってネット投票はどうなっているんですか？

枝野 ネット投票はアメリカもまだやっていないです。基本的には大統領選とか、そういう大きい選挙ですが、私の知る限りでは。

こにわ かなり壁があるってということなんですね。

枝野 壁はある。そこさえクリアできれば、やはり大方の人はやったほうがいいとは思っているんです。僕もやったほうがいいと思うし。そこだよな。

こにわ わざわざ書きに行くっていうのが。

mim たぶん投票所に行くっていうのが面倒くさいと思う人が多くて。期間も限られているから、行けなかったらもう終わりじゃないですか。だから家で気軽に投票できるっていうのが一番かなと思います。

枝野 あと家だと難しいのは、皆さん都会の子でしょう？都会の子はいいの。残念ながら昔ながらのおじいちゃん・おばあちゃんだと、家族の中で「おまえ、この人に入れろよ」みたいな感じになって、自分の意思じゃなくて家族の。投票所って絶対に隣の人が見えないようになっているでしょう。だけど家でだと、家族が見ているとか、あるいは「あんた、〇〇さんに入れてね」って近所の人を押しかけてきて、目の前でやって、みたいな、これもあるんですよ。

紗蘭 脅しだね。

枝野 脅したり、買収したりね。「お金渡すから、〇〇さんに投票して。目の前で投票して」っていうのをどうやって防ぐかというのは、なかなか大変。難しいんですよ。みんながいいと思いつつ進んでいないことには、必ず理由がある。でも、理由を知らないから、「なんでやらないだろう。政治、だめだな」と思っていたんでしょう。一応、理由はあるでしょう。

mim そうですね、ありましたね。

こにわ あと「若い人達の意見を取り入れた案を出す！」。若い人の意見を取り上げていないイメージって、ここにいる皆さんも結構あると思うんですが、それって枝野さんはどう感じます？

枝野 若い人だから特にとというテーマって、何があるのかな。今度実際に18歳まで投票年齢を引き下げましたね。今度僕らは、選挙に立候補するのが衆議院議員だと25歳、参議院議員だと30歳。この**被選挙権年齢をもう5歳ぐらいずつ若くしようかと**。

こにわ じゃあ20歳から立候補できる人もいます。

枝野 だってヨーロッパの国とかに行くと、**17歳の国会議員**とかいますから。

紗蘭 すごい！友達じゃん。

こにわ そうだよね！

枝野 国会議員は700人ぐらいいるんだから、その中には5人や10人若い人がいてもいいじゃないかと僕なんか思うから、それを若くしようというのがあってやっているんです。でも、それも政治家になろうとか、もともと関心のある人以外には、あまり関心はないよね。そうすると、じゃあ皆さん何にだったら関心があるの？という感じになるんだよね。

mim もともと政治に関心がないから、自分で案を出そうとかたぶん思わない。だから**まずは関心を持ってもらうことが大事**なのかなって。

枝野 そうなんだよね。だから、今一生懸命やっているのは、学生さんと**学校の授業料とか奨学金**ね。実は一番シビアなんだろうと思うのは、就職。就職口がたくさんあればいいよね、だけどこれは結局、経済政策全体の話になるから、その話をし出すと長くて難しい話になっちゃうので。

こにわ 結局そういう話がおもしろおかしく聞けないと、興味持てないもんね、経済政策っていきなり言われても、「ムリムリムリ、そんな四字熟語」みたいな感じになっちゃう。

枝野 とりあえず来年卒業なんで、来年ちゃんと就職できるかな？っていうのにダイレクトに答え切れていないですよ。

こにわ そうか、現在国会議員になっている方がちゃんと答えられないから、ひずみが生まれてしまっていると。そこに溝ができて。

では、mamさん、お願いします。

mam 「若い世代に向けた案を出す」「ネットでの演説動画の配信、アニメやマンガにする？」

mim とかぶっちゃったんですけど、若い世代に向けた法案などを出すという、これはmimと全く同じ意見で。話は終わったので、飛ばしてもよろしいでしょうか（笑）。

そして下のは、ネットでの演説の動画の配信。結局、私たまに演説とか、道とか駅前でやっていたやつ、あるじゃないですか。そういうのってほとんど見に行かれないんですよ。興味があっても、その人を見に行きたいと思っても、時間が合わないとか、そういうことで行けなかったりするんです。そういうのを動画を撮って配信している人からちゃんと公式にそういうのが出ればいいなと思っていて。

こにわ 僕らがネットで見るとなると演説の方の動画って、マック赤坂さんしか知らないんですよ、ホントに。要はおもしろ演説している人しか動画に残らない。「変なこと言ってる」みたいな。

mam そうなんですよ。

枝野 一応、載っているんですよ。「枝野 2015年 本会議 不信任案」で検索かけてもらえれば、たぶん私が1時間45分演説しているのが載っていますよ。

こにわ 1時間45分!? なげえ! (笑)。

mim 編集しないと、結構長いと思う。

mam 要所要所、いいところをちゃんと。

枝野 ピックアップして、短くしなければいけないんだよね。

mam それをやってくれれば、すごい興味が持てるかなと思います。

枝野 何分まで?

mam 30分ですね、私は。

枝野 30分も見てくれる!?

mam はい。でも今の若い子だったら、たぶん3分ぐらい。

紗蘭 (スマホの通信速度が) **30分も見ていたら速度制限になっちゃう**から、だめ。

こにわ vineは6秒だし、今インスタグラムでやっと1分になったぐらいなので。あとは例えばAKB48さんの総選挙なんてネットを使っているから、わかりやすいはずだよな。

mam わかりやすいですね。

こにわ あれだったらいつでも見られるから、「投票しよう」って、例えばAKB48さんを好きじゃなくても、ちょっと思ったりするよね。

mam します、はい。

枝野 本当にね、うちの若手で演説の下手なやつに、AKBの総選挙のスピーチを見ろと。彼女らのほうがよっぽど必死だと。ちょっと必死さが足りない、考えてみろと。

こにわ なるほどね。勉強になる。エンターテインメントの部分も入れるのって重要なことでしょう。

枝野 例えば政治家の中で小泉純一郎さん、お父さんが総理大臣をやった人。あの人は、歌舞伎とか落語とか、その手のことが大好きらしくて、そういうところで学んでいるらしい。私はAKB総選挙ですけど(笑)。そういうのを学ばないと、だめだよな。

それからアメリカのも学んで。実は最近、北海道で補欠選挙があって、うちの候補者のプロモーションビデオは結構評判がよかったの。とにかく1分だと。1分を超えたらもう見えてくれないから、1分でおさめる。

mam よほど興味がある人でないと、理解されないですからね。

枝野 しかもアメリカの大統領選挙とかのPVを見て、このテイスト、こんな雰囲気のものをつくらなければだめだと言ってつくってもらったら、この業界のものにしてはものすごく評判がよかった。

こにわ やっぱりちょっとかっこよく。

枝野 そうそう。

mam あとアニメや漫画とかの、親しみやすいものに変換するのが一番いいかなと思うんですよ。

枝野 それはやったら効果あって、僕らがやったわけではないけれども、去年、安保法制が盛り上がった時に、「あかりちゃん」という、女子学生のキャラクター。それで、どこが問題かみたいなのをアニメで、ネットで上がっていて。

mam 見ました、それ。

枝野 あれはよかったね。

こにわ それはすごかった？見ていて。

mam すごかった、わかりやすいです。

枝野 そういうことは工夫しなければいけないけれども、あれは実は「あかりちゃん」というアニメキャラクターを使ったのもよかったけれども、中身がわかりやすいんだよね。結局、政治家とかがって難しい話をするでしょう、聞いていてわからない。聞いていてわからない話をする人は、しゃべっている人もよくわかっていないんですよ。本人がわかっていれば、やさしくしゃべれるわけ。難しい話をわかりやすくしゃべれるのが能力なの。難しい話を難しくしゃべっている人は本当はわかっていない。これは政治家を見る時の判断材料にしたらいいいんだよね。

こにわ 続いて、芽衣ちゃん。

めいめろ 「プリクラの機械の中に投票機能を入れる」

こにわ 大事だよね。さっきの紗蘭ちゃんの話からの発展じゃないですが、若い子達が来る場所に対して、政治がアプローチをしていくという部分ではすごくわかりやすいし、斬新だし。

枝野 だから法律を変えて、大学のキャンパスの中とか駅とかに投票所をつくりやすくする法律をつくったんですけれども。

こにわ つくりやすくする法律をつくったのに、できていないんですか？

枝野 つくったのは最近なんだけれども、だから今度の夏の参議院選挙でやれないかなと思ったんだけど、投票所を決めるのは市役所なんです。正確に言うと、市の選挙管理委員会。なかなかみんな面倒くさかって、今回はやってくれないみたい。例えば千葉市なんていうのは、我々の仲間だった人が市長をやっている、ここなんかは、やりやすくする法律ができる前から、スーパーと組んで、スーパーの中に投票所をつくったりとかね。

一同 ヘー！

こにわ 来るでしょう、めちゃくちゃ来ますよね。それだったら普通に買い物が終わった後にパッと。

枝野 そうそう。市役所、各市町村の選挙管理委員会が頑張ってくれば、そういう場所につくるのはますますつくりやすくなっているのね。

こにわ 渋谷のセンター街につくろうと思えば、幾らでもできるわけですね。

枝野 いや、東京での問題は、渋谷のセンター街を歩いている人は渋谷区民じゃないから。さいたま市民だったりするから。さすがに埼玉の人が渋谷で投票は難しい。

こにわ そこに課題はあるけれども、アイデアとしてはすごくいいですね。

めいめろ “硬い” っていうイメージなので、もっとそういう女子高校生たちが普段から行っているようなプリクラ機械の中に、1人でピンプリ撮って、かわいい盛れてるプリを並べて、「投票機能を押す」みたいな。

枝野 やっぱり「プリクラ」っていうのは今のキーワードなのね。一緒に撮った紗蘭ちゃんじゃなくて出てきているということは、やっぱりもっとプリクラ撮ったほうがいいかな、私も(笑)。

こにわ まず、プリクラを国会議事堂に1台入れるというところからでしょう。

めいめろ それで投票したら、本来プリクラは400円だけど、300円で撮れる。そういうところから始めないとだめなんです(笑)。

こにわ なるほどね。じゃあ最後、紗蘭ちゃん。

紗蘭 「1人1人とプリクラとる」

こにわ プリクラの連鎖、来たね！

紗蘭 枝野さんに限らずですよ、これはもちろん。もっといろいろな人が、若い方だったり、お年寄りの方とかとプリクラとか撮ったらすごいおもしろいし、それこそ「この人、おもしろい！」って興味を持つきっかけにもなる。

こにわ 例えばプリクラ撮る時にも“変顔”をしたい人もいるかもしれないものね。

紗蘭 変顔「して」って言ったらしてくれますよ、えだのんは。

こにわ その時に、「いや、ちょっと変顔はしたくないです」って言ったら、「なんかこの人硬いから、投票したくない」って思ったりするよね。

紗蘭 そう。「なんだよコイツ、言うこと聞いてくれないじゃんかよ！」ってなるから(笑)——なんですか、あの牛みたいの(さくら丸)。手を叩いて笑ってるの。

こにわ 絶対に投票しないよね。

紗蘭 絶対あんなのやだ！

枝野 でも、この間、あれが「民主くん」に勝ったんだよ。

紗蘭 やだー！

こにわ ニコニコ超会議で、紗蘭ちゃんが出る前日に勝ったの。

紗蘭 ……なにしてんの！？

こにわ でもそういうことだよ、自分の判断で、この人には投票したい、えだのんには投票したいけれども、彼(さくら丸)は嫌だと。

枝野 実は僕らも、いわゆる選挙運動で投票してくれる人を増やすのに写真を撮るのよ。いろいろな会合とかで、「一緒に写真撮りませんか」って言って。紙に焼いてそれをあげると買収になるんじゃないとか、いろいろ面倒くさかったりするんだけど、今だったら電子データだから、あなたのスマホで撮りますからって言ってツーショット写真を撮ると、すごい選挙運動になる。

紗蘭 前、えだのんと原宿で一緒にロケをさせてもらったんですよ。その時に、もう本当に人だかりがハンパなくて。原宿の竹下通りってお店がいっぱいあるじゃないですか、お店の店主さんとか店員さんとかが「枝野さんがんばれー！」って言うのと、自らその人に歩み寄って「ありがとう！」って握手していたんですよ。ファンサービス、マジすげーって思った。

枝野 それは政治家みんな、選挙やっている人は全部。

紗蘭 でも私、枝野さんしかこうやって近くでお仕事したことがないからこそ、「あ、すげーファンサービスするんだ。私、見習わなきゃ」て。

枝野 それは政治家みんなやっている。

こにわ でも意外だったわけだよ。

紗蘭 自分の中ではそういうイメージがなかったから。

こにわ 何か言われて、「ハイハイハイ」みたいなね。

枝野 あれは偉そうに見えるよね。

紗蘭 やっぱり国を背負っているじゃないけれども、そういう人たちだから。

こにわ 「オレたちがやってるんだよ」みたいなね。

枝野 政治家は二重人格に見える時があって、偉そうにしているのと、選挙区で有権者の皆さんにひたすら頭を下げているのと、両面。

紗蘭 選挙が近くなってきたらペコペコするとかは、やだ。普段からこうやって、えだのんみたいにやっているのをすごい近くで見ている、あ、チョーいい人、って思う。

こにわ キュンってきちゃうわけだね (笑)。

枝野 ありがとうございます。

紗蘭 1キュン。ホントに。

こにわ 枝野さん、斬新なアイデアがいっぱい出てきましたね。

枝野 時代はプリクラなんだね。

紗蘭 マジでプリクラですよ、ホントに。

こにわ 時間がかかり迫ってきたので、最後に皆さんにもう一つだけ。「自分が総理大臣になったら、こんな国をつくりたい」「こんなスローガンを掲げて私は総理大臣になる」とかいうのがあれば。要は、皆さんが一人ずつ国を持っていると考えてもらって。紗羅ちゃんは前に一回やってもらったね。その時は何て書きましたっけ？

紗蘭 前回やった時は「毎日 SALE」。毎日 SALE したら、みんな買い物が楽しくなる。お金あまりかからないし。

こにわ で、この間、枝野さんが「いや、これは実はいいことでもあるし」という話をされた。お金が動くってことはすごく大事なことなのでというところで。

ごめんなさいね、皆さん、時間が全然足りていない。でも話し始めると、やっぱり伝えたいなありますよね。だってこれだけ若い子たちが来てくれる機会はなかなかないから。新鮮ですよ、フレッシュな意見を聞くのは。

枝野 そうですね。

こにわ 「クリオネ」がわからない枝野さんがかわいいなって (笑)。

枝野 一応、好奇心は旺盛なので。

こにわ 大事ですよ、こういう政治家の方がたくさんいると。さっき言っていた、「政治ってもっとおもしろいからさ、こっち来なよ」って言ってくれる人がいっぱい出てくると。

枝野 本当おもしろいんです。だって政治の「政」っていう字は「まつりごと」って読むんです。政治ってお祭りなんです。

こにわ あ、そこから来ているんですね。そう考えるとアメリカのパーティーピーポーな感じもわかるってことですね。祭りをやっているんですね。

枝野 だからもっと祭りの要素を何とかしなければいけない。

こにわ 向こうは、スーパーチューズデーでしたっけ。

枝野 チューズデーです。日曜日じゃないんですよ、投票日が。

こにわ そういう名前が付いたりして、その日は政治の方々が来て、本当にウワーッとなったりして、本当にお祭り、イベント事になっていますよね。

さあ、ちょっと一人ずつ、ほりえさんから。自分が総理大臣になったらこんな国にしてみたい。

ほりえ 「政治家だけでお笑い番組をつくる（お笑い大運動会）」

個人的にはお笑いの大運動会、政治家だけで走っているところとか、綱引きしているところとか、それを政治家の人たちがしていたら、僕たちのにも「おもしろっ」と思っで見ちゃうんですよ。それは見たいですね。やっぱり今の政治家も、テレビもそうなんですけど、クレームとかめっちゃ気にするじゃないですか。でも何か新しいことを一つするっていうのは、絶対にクレームも来るし、さっきも言ったように1人がアカウントいっぱいつくったりしてそういうのをやってくるから、そんなんあまり気にせず、やっていっていいと思います。

枝野 あまりクレーム気にしないで。「不真面目だ」とか怒られるんだけど、私のプリクラも怒られたんだけど……。

紗蘭 あれはいいじゃないですか。

枝野 一部からはね。一部からはそう言われても、しょうがない。

ほりえ もっといっちゃってほしいです、ホント。

枝野 いっちゃいましょう。

こにわ 続いて愛里さん。

あいによん 「子どもとか若い人も重視」

子どもとか若い人を重視する日本。少子高齢化とか言っているくせに、幼稚園の数とか保育園の数も足りていないし、そうやってファッションが若い世代は変わりやすいじゃないですか。それと一緒に、政治も若い人に——。

こにわ ファッション感覚のように。服は毎日着るものものね。そんな感覚で政治もたぶん毎日そこにあるもの、みたいな感覚でいるのが大事なのね。

あいによん そう、どんどん変えていけば、もっとなじみやすくなるから。大人が投票したりしているから、こっちがどう思っている、結局大人の意見で全部が決まっちゃうから、若い世代ももうちょっと重視されたらいいなと思います。

こにわ もっと下を見てほしいということだよね。

あいによん はい。これからは今の下の子が上になるわけだから、下の子のことを取り上げることで、これからもっとよくなるんじゃないかな。

こにわ まったくテレビ業界と同じ。ADの人をいじめる人は絶対に出世しないと言われていますが、ホントそうです。続いて mim さん。

mim 「老後安心して暮らせる国づくり」「医療を充実させる」

老人ホームとか介護とかを充実させて、年金とかも、もし自分が年老いた時にもらえるかも心配だから、安心してもらえるように、暮らせるようにとか考えて。

こにわ やっぱり不安を感じているんですね、老後に。

mim めっちゃ不安です。年金払っていますけど、今は自分の年金で今の年配の方の年金を賄っているんですけど、払っている子って周りでも少なくって。自分がもし年老いた時にもらえるかどうかという不安がやっぱり大きいです。

こにわ 若い子たちでも、こんなに今の日本をすごく不安がっている。

そして、「医療を充実させる」。

mim 治療費とかも、海外って税金が高いけど医療費が無料みたいな感じがあるじゃないですか。そのシステムってすごくいいなと思って。だからやるべきだなとちょっと思っています。

こにわ すごい、なんか論客みたいな感じでバンバン出てくる。真っ当なことを言っていますよ。

枝野 ねえ。誰か仕込んだか？というぐらい。私が選挙区でしゃべっているみたい（笑）。

mim 仕込んでないです、仕込んでないです（笑）。

こにわ 続いて mam さん、いきましようか。

mam 「高校生まで給付金を一定額与える」「進学に対してもう少し夢を持って頂けるようにする」「若い人の学習しやすいような……？」

給付金が一時期あったじゃないですか。

枝野 子ども手当ね。また頑張ってるよ、それ。

mam あれが結構助かったんですよ。私の家、mim と私、あとお姉ちゃんも三つ違いだったんで、入学と卒業の時期が重なっちゃってお金がすごかったんですよ。

枝野 双子はカネがかかる。うちも双子だから、大変なんだよ。

mam そうなんです。だからそういう人たちに対しての手当てもすごく大事だなって思うし、やっぱり子どもって未来をつくっていく者、担っていく者なので、それに対してお金をかけないのはどういうことなんだ！って思ってる。

枝野 そのとおり！

mam なので、若い世代をもっと育てていくためにはどうすればいいかと考えたところ、こういうことになりました。

こにわ そして「進学に対してもう少し夢を持っていただけるようにする」。

mam 私も稼ぎが少ないということだと、自分でどんなに頑張っても、例えば私、専門学校に通っていたんですけど、奨学金でほとんど賄っていて、今、自分で返しているんです。

こにわ 奨学金って、返さなければいけないんだよね。

mam そうなんです。だからそういうシステムももうちょっと、これは奨学金は国でやっているものではないかな……？と思うので、例えば進学とかに対して、学生さんがお金がないからやめようということじゃなく、もっと前向きに行けるような。

こにわ 行きたいという気持ちが強い人は行かせてあげるべきだし。

mam そう、行かせてあげるべき。そういうのはやっぱり大切じゃないかなと思います。

こにわ それが一番下の、「若い人の学習しやすいような……？」というところにつながってくるんだね。

mam そういう環境づくりをしていくべきなのかなと思います。

こにわ 若い子たちは、自分たち若い世代のことをちゃんと考えている。

枝野 本当に仕込んでいないの？（笑）

mam 仕込んでないです！私が正直に思ったことです。学生時代に苦労したので。今も苦労しています。

枝野 我々が今、一生懸命党内で、こういうのをやんなきゃなと議論していることを、順番に言ってもらっている。あ、お笑いはさすがに議論していないけど（笑）。

こにわ でも彼のツイキャスで流したらすごい影響力ですよ。

枝野 お笑いは私と青年局長で相談しているから。

ほりえ お願いします！

こにわ 続いて芽衣ちゃん。

めいめろ 「18歳未満は消費税なしっ！」

こにわ ちょっとあるよね、この考え方は。

めいめろ バイトしちゃだめな高校とかも多いじゃないですか。しかも、赤ちゃんの服買ってる時に、国のために生まれたのに、なんで消費税取られるのかって。

こにわ 赤ん坊はね、親がもちろん払ってくれるんだけど、でも着る本人は別に何にもわかんない状態で。

めいめろ 働いている大人がちゃんと払っていくのは大事だと思うんですけど、自分で自分の収入がない子たちが消費税を払う。

こにわ お小遣いだけでやっても。

めいめろ そう。なのに……8円？みたいな。

枝野 問題は、そういう仕組みにすると、大人が18歳未満の人に「これ買ってきて」って代わりに買ってもらう、悪用する人が必ず出てくるんだけど、今の話でなるほどなと思ったのは、今度上がる時に食料品と新聞だけ上げないことにしている。新聞の軽減税率よりも、ベビー用品とか紙おむつこそ！でしょう、新聞記者の皆さん。新聞の軽減税率よりもそっちでしょう。特に読売新聞、ちゃんと書いて（笑）。

こにわ 名指しできましたね、読売さん。そうか、物によって――。

枝野 「これは安くします」という時に、新聞じゃないよね、むしろベビー用品だし、それからまさに学生さんしか使わないような物とかを安くするべきだよね。本当にそう思いますね。

めいめろ 年齢にちゃんと合ったものがないと思う。赤ちゃんなのに新聞渡されても、「え？おいしいの？」って思うから（笑）。

こにわ そうだよね、「食べちゃだめ！」って言われるんだから、お母さんに。目からうろこです。

最後、紗羅ちゃん。

紗蘭 「週末イベントする 1人1人とのコミュニケーション」。

私は、自分が枝野さんとかの政治家さんの立場だったら、週末にイベントして1人1人とのコミュニケーションをとりたいたいなと思って。なんか「会いに行ける政治家」っていいなって思って。きょうもそうだけど、こうやって会いに来られるじゃないですか。これを定期的にやっていたら、自分の思ったことを発信して、それについて興味を持ってもらったら、それが選挙の一票につながるかもしれないし、そういうのっておもしろいなって思って。

こにわ さっきのツイッターの話じゃないけど、もっと蓮舂さんみたいにわかりやすい言葉で言うとか、そういうのはまさに「会いに行ける」「あ、近いじゃん」って思えるもんね。

紗蘭 そう、距離が近いほうが親しみやすいから。なじみを持てるっていうか。そのほうがいいのかなって。

枝野 大丈夫？青年委員会の仲間。やってる？僕は一回生の時から毎月一遍、まさに“会いに来れる国会議員”をやっているわけ。「誰でも来てくださいよ」ってタウンミーティングやって、最初のうちは3人とか5人しか来てくれなかったんだけど、毎月やっていたら――。

こにわ まさに最初のAKB48と一緒にじゃないですか。観客7人ぐらいしかいなかったんですから。それが変わってくるわけでしょう。

枝野 そう。いろいろな人が来るから、紗蘭ちゃんに大人をからかわれても、どう対応したらいいかとかね（笑）。

紗蘭 それこそ抽選何人とプリクラとか撮ったらおもしろいかなと思う。

こにわ イベントだからさ、えだのんとジャンケンして勝ったら何かもらえるとかもありじゃん。

紗蘭 私物プレゼントしよう！

枝野 あげちゃうとマズイんで。買収になっちゃうから。

こにわ そうか、買収になっちゃうのか。大変だなあ、政治家。

枝野 何かしたら、「耳たぶさわっていいよ」とか（笑）。

紗蘭 めっちゃ福耳ですから、ホントに。

枝野 顔はほめられないけど、耳はほめられる。

こにわ さあ、本当にお時間がない中、枝野さん、すみません。

枝野 おれの次の予定、甲府まで行って帰ってくるんだけど。

こにわ 大丈夫？ヤバイんでしょう？ごめんなさいね、ホントに。

では改めて、「民進党ハイスクール4時限目横浜」を終了させていただきます。皆さんに大きな拍手をお願いします。

一同 ありがとうございます！（拍手）

校長あいさつ

こにわ 最後に、ハイスクールの初鹿明博校長から一言だけ。

初鹿明博民進党ハイスクール校長（衆議院議員、以下**初鹿**） どうも皆さん、こんにちは。衆議院議員の初鹿明博です。民進党ハイスクールの校長をしています。枝野さんの耳たぶ、いいですか、さわらせていただきます。（笑）

出演者の皆さん、ありがとうございます。どうですか、皆さん、楽しめました？

楽しかった人、ちょっと政治に興味を持った人、ぜひ皆さん、お家に帰って、お父さんとお母さん、特にお父さんと、政治のこと、きょうの話とか、してくださいね。

僕も、こう見えても一番上が18歳の大学生の娘がいて、真ん中に高校生の息子がいて、一番下が中学1年生なんだけど、あんまりしゃべってくれないんですけれども、たまにしゃべってくれた時、政治の話とかして。

紗蘭 なんかせつない。

初鹿 それで選挙の話をしたら、まさに「ネットで投票できるようになったら行くのに」って言われたり、本当にきょうは参考になる意見がありました。今度、与野党で対立した時は、綱引きで決めましょうか（笑）。大運動会、公開で。

こにわ 本当に配信してほしい！

ほりえ ホントに！

初鹿 それは難しいかもしれないけれども、一つ公約で入れましょうよ、幹事長、「国会にプ

リクラつくる」。

紗蘭 マジそれ！

初鹿 マニフェストに載せたら、皆さんは投票したくなるよね。

紗蘭 プリクラだったら、マジみんな撮るよ。

こにわ 国会議事堂に行きたくなる。

初鹿 ということで、皆さんの意見をきちんとマニフェストに入れることを、たぶんえだのんが約束してくれましたので、我々も頑張ってる。

枝野 どこに設置したらいいかなって、今、まじめに考えちゃっているんだけど（笑）。

初鹿 私、思いつきましたので、後でちょっと相談します。

いずれにしても、きょうは皆さんありがとうございました！これを一つきっかけにして、少し政治のことと、ちょっと民進党のことも覚えていただければと思います。出演者の皆さん、本当にありがとうございました！これで「民進党ハイスクール4時限目」終わります。

（拍手）

（終了）